

ブナの開花調査結果について

ツキノワグマの出没傾向をより早期に予測し、警戒を呼び掛けるため、ブナの豊凶予測調査として、従来の雄花落下数調査（6月）及び着果状況調査（8月）に加え、今回新たにドローンを活用した開花調査（4月）を実施した。

＜調査結果＞

全ての調査地点で、全体で開花した木が多く見られたため、現時点では、凶作傾向にはなく、「並作以上」と予測

調査地 10か所（白山市、金沢市、小松市、加賀市）

調査方法 ドローンによる空撮を行い、1か所当たり、
10本から20本程度を調査

調査結果 並作以上 . . . 10か所

 凶作傾向 . . . 0か所

実の生育は、今後の天候（高温、少雨、多日照）により影響を受けることもあるため、順次、雄花落下数調査（6月）と着果状況調査（8月）を実施し、引き続き注意喚起を徹底していく。